

第5次忌部地区 地域福祉活動計画

実施期間

2019年度～2023年度

スローガン

「つながろう 笑顔がつくる 福祉の輪」



2019年3月

忌部地区地域福祉活動計画策定委員会

忌部地区社会福祉協議会

～ は じ め に ～



日頃から地域福祉活動にご支援ご協力をいただき感謝しております。

さて、平成30年度は、第5次忌部地区地域福祉活動計画策定の年であり、多くの皆様のご協力により、ここにまとめることができました。

近年は自然災害が相次いでおり、その範囲も日本各地に広がっています。2018年の世相を表す漢字は「災」でした。大阪北部地震や北海道胆振東部地震のほか、西日本の広い範囲を襲った西日本豪雨など、未曾有の災害が発生しました。そして、多くの死傷者も出ました。また、家屋の倒壊、交通網の遮断、ライフラインの破壊など甚大な被害を被り、復興は未だ道なかばといったところです。

しかし、そのような状況の中で、もう一度住みなれた地域を復興させようと懸命になっている住民の姿をテレビで視聴し、感銘しました。これだけの「力」がどこから溢れ出てくるのだろうかと考えたとき、この地域の「心の豊かさ、環境の素晴らしさ」にあるのではないかと思いました。

つい最近、心の豊かさについて考える機会がありました。「床上浸水」に遇われた方の話です。勤務地が松江市で、豪雨のため、父親から「早く帰ってこい」との電話があったそうです。急いで岡山に帰ると、目も当てられないほどの状況でした。しかし、近所の人が実家の片付けにたくさん来てくれていたそうです。自分たちのことで大変なのに「何でそんなにたくさん来てくれたんですか」と、聞くと彼は「お父さんにいつもお世話になっているから、当たり前」との言葉が返ってきたそうです。「向こう三軒両隣り」のつきあいが普段からできていたからです。忌部地区を見渡すと、福祉推進員さんによる見守り、助け合いセンター「輪の会」、登下校時の見守り活動など、安全安心につながる「地域を守る、地域の力」を感じています。まさに、心の豊かさにつながる光景です。

私たちが住む忌部地区は、自然環境「水、花、山、空」に恵まれた素晴らしい地域です。しかし、古代より受け継がれてきた農業の担い手は減少し、田畑の荒廃は年々すすんでいます。また、ソーラーパネル設置など環境は様変わりしてきましたが、一方、忌部の環境にひかれ移り住むなど地域が見直されつつあるのも感じています。次の世代に忌部の環境の素晴らしさを継承していくことの困難さを痛感するなか、忌部地区で若い世代が集まり話し合う会がスタートしました。新たなうねりを期待しています。

今、「人と人とのつながり」を大切にし、故郷の良さを共有できる地域づくり、そのためには、何をしたらよいのかを模索し行動に移すことが求められています。この度の福祉活動計画が、その道標になっていくことを願っています。

終わりにあたり、この計画策定にあたってご協力賜りました策定委員・各専門部員の皆様を始め、ご指導賜りました関係機関の皆様に厚くお礼申し上げますと共に、今後の計画実施に一層のご支援ご協力をお願いいたします。

平成 31 年 3 月

忌部地区地域福祉活動計画策定委員会

委員長 倉 石 明 美

目 次

《本 編》

- 1 忌部地区の特徴・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 P
 - ・年齢人口構成
 - ・年齢人口比率
 - ・第5次福祉活動計画の人口等動向
 - ・高齢者（65歳以上）世帯の推移
 - ・乳幼児（0歳児から5歳児）の数
 - ・参考【核家族の割合の推移（全国平均）】
 - ・特定健診受診率の推移
 - ・特定健診受診者
 - ・忌部地区がん検診受診者数
- 2 第4次忌部地区地域福祉活動計画の評価・・・・・・・・・・ 5 P
- 3 「みんなの声」の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5 P
 - ・高齢者部会
 - ・青壮年部会
 - ・子ども部会
- 4 第5次地域福祉活動計画策定に向けて・・・・・・・・・・ 7 P
- 5 第5次地域福祉活動計画表（実施計画表）・・・・・・・・ 9 P
- 6 計画進捗・実績の評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9 P

資 料 編

○部会の集約（課題抽出） 1 P

- ・高齢者部会
- ・青壮年部会
- ・子ども部会

○作成参考資料 15 P

- ・子ども部会のアンケート集計
- ・情報交換会資料
- ・各事業の実施状況

○その他 31 P

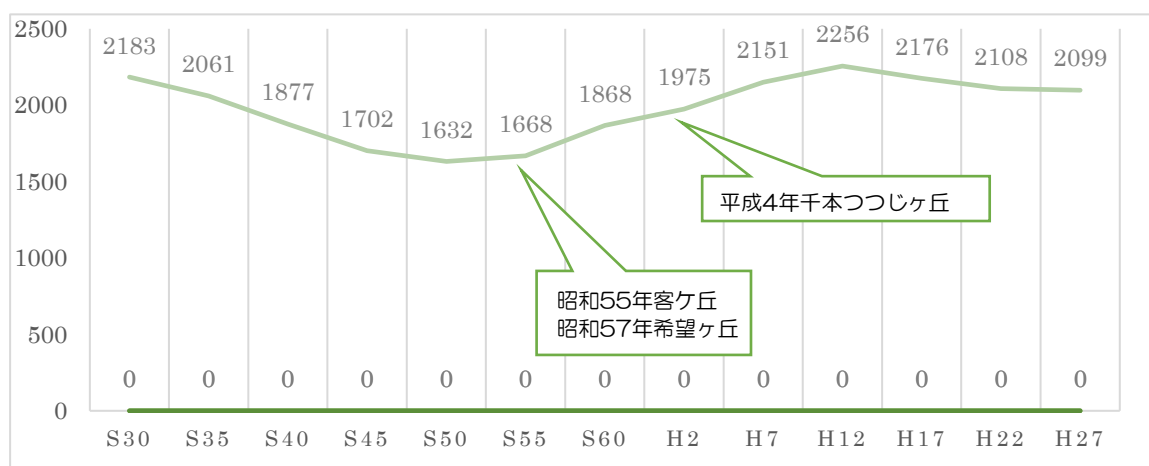
- ・忌部地区地域福祉活動計画策定委員会設置要綱
- ・会議等実施状況
- ・参画者名簿
 - 策定委員
 - 専門部員
 - 委嘱状

1 忌部地区の特徴

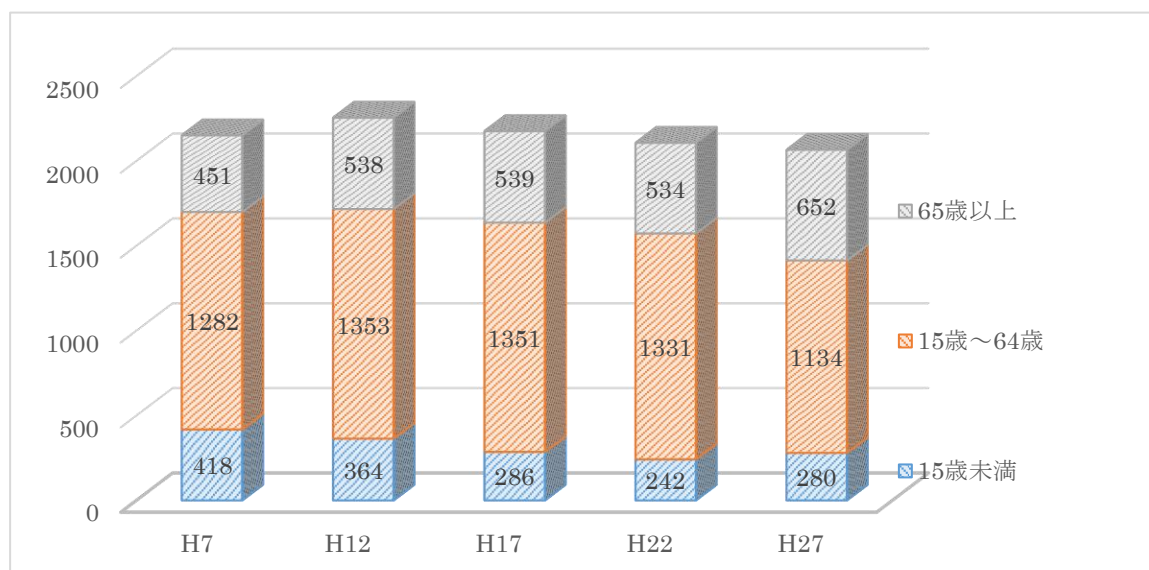
- 忌部地区は、松江市の水がめである千本ダム、大谷ダム、四季を通じて往来する人々の目を楽しませる花街道、眺望絶景の空山（自然休養村）など自然に恵まれた「水、緑、花、空」の地である。
- 人口の推移は、昭和50年頃までは下降したが、団地造成（客ヶ丘、希望ヶ丘、千本つつじヶ丘）に伴い増加した。平成12年をピークに緩やかに下降しS字曲線を描いている。
（下図 参照）
- 近年は、上下水道の整備、山陰道の整備、田和山の商業地造成など利便性が図られ市内外から移住する者が少しずつ増えてきた。



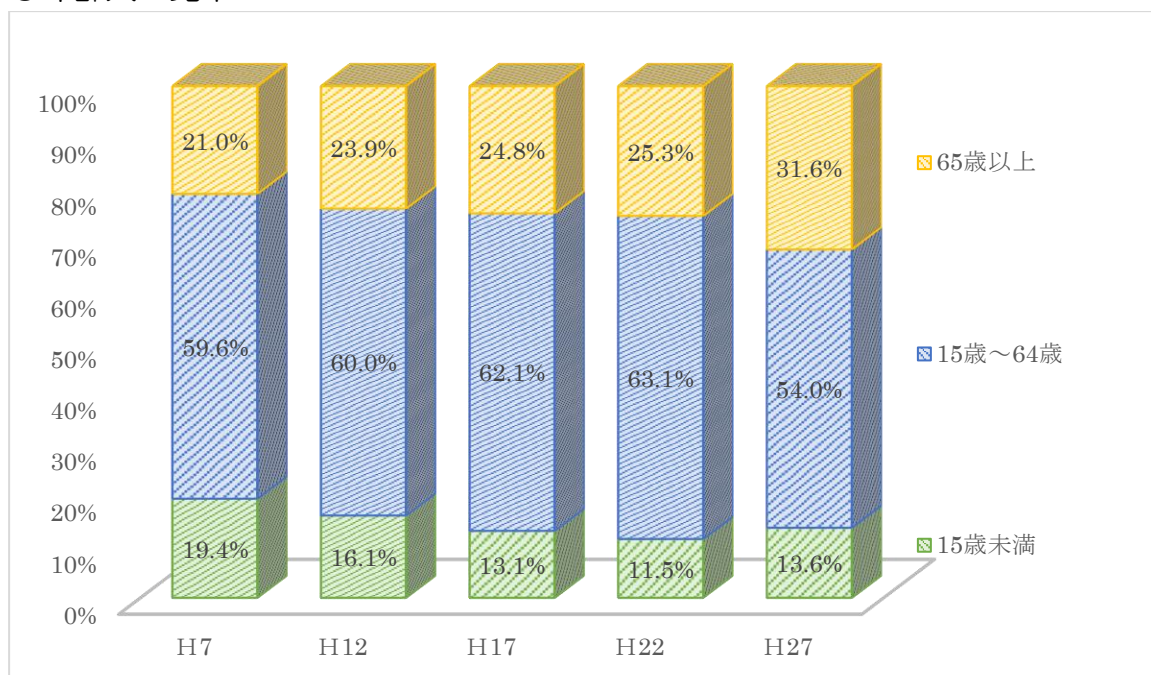
○人口の推移



○年齢人口構成



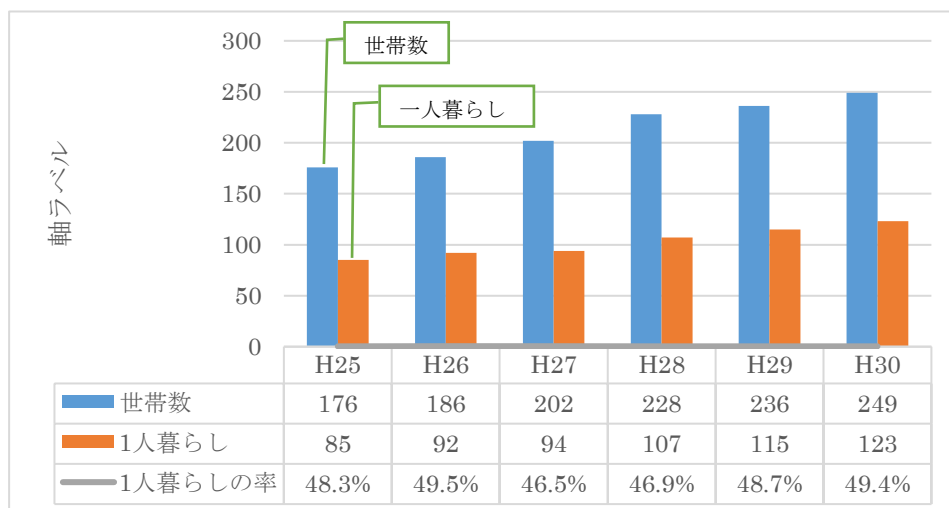
○年齢人口比率



○第5次福祉活動計画の人口等動向 (人口、世帯数は住民基本台帳による。)

活動計画年次	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	備 考
年 度	13年度	17年度	21年度	25.3末	30.3末	
人口(人)	2,313	2,287	2,228	2,219	2,151	
世帯数(世帯)	645	683	718	778	819	
自治会加入率(%)				71.9	72.6	自治会からの報告 656世帯、 加入 595世帯 90.7%
生産年齢人口(人)				1,355	1,150	
年少人口(15歳未満)				272	294	
就学前人口(0歳～5歳)				145	98	
65歳以上人口			551	594	707	
高齢化率(%)			24.7	26.8	32.9	
1人暮らし高齢者数				85	123	
高齢者世帯数				176	249	
介護認定者数	63	105	200	116	143	
要支援者数	10	17	56	27	33	
訪問介護利用者					5	H28.7現在
通所リハ通所介護					17	//
市配食利用者					1	//
要介護者数	53	88	144	89	110	

○高齢者（65 歳以上）世帯の推移



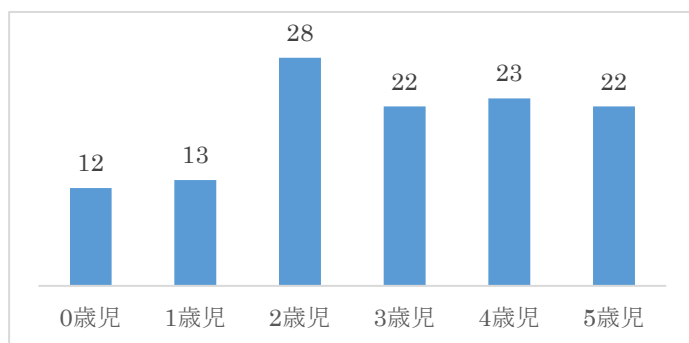
高齢者世帯に占める一人暮らしの割合は、平成 30 年 3 月 31 日現在で 49.4%であり、対 25 年より 1%増加しているが、人数は同年に対して 45%増となっている。

因みに、松江市の平均は 56.4%と高齢者世帯に占める割合は、半数を超えている。

なお、忌部地区は 4 番目に低い位置となっており。

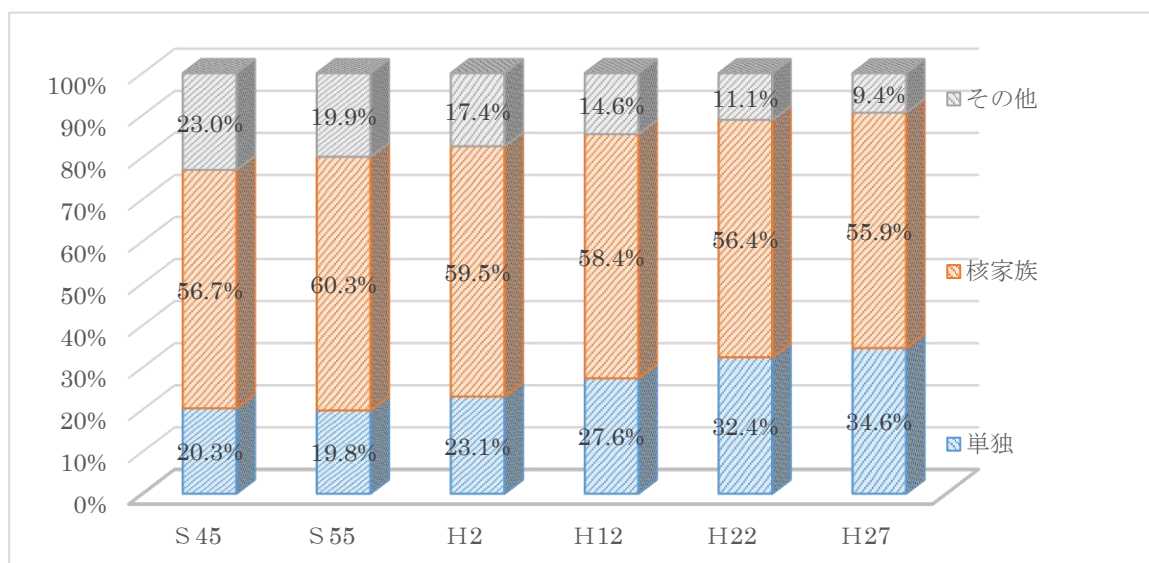
※ 上記数値は住民基本台帳による数値であり、同居しているが世帯分離されていることも大いに予想され、実際は高齢者世帯、一人暮らしは少ないものと考えられる。

○乳幼児（0 歳児から 5 歳児）の数

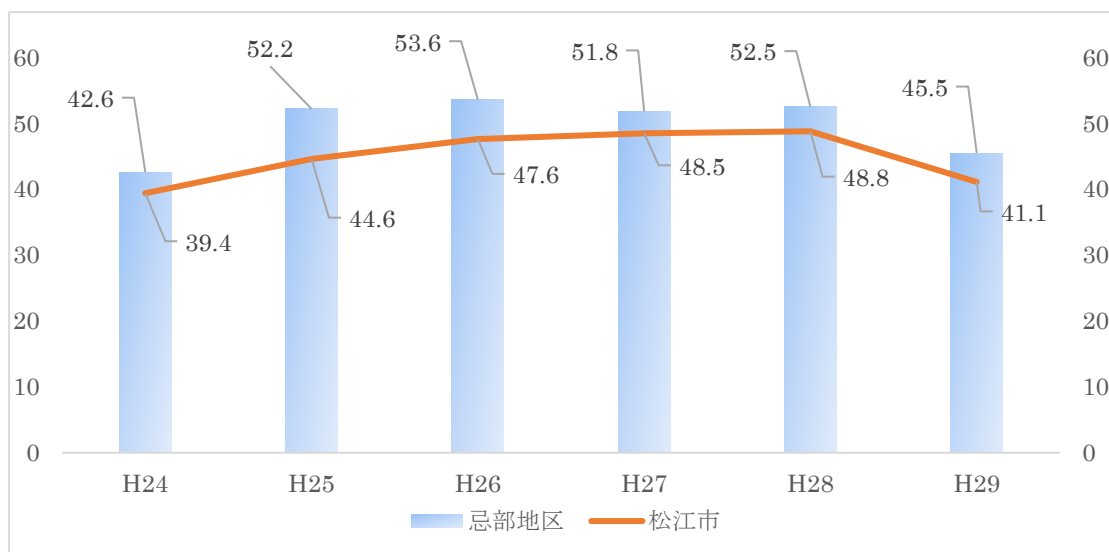


人口に占める乳幼児の割合は、5.6%であり、松江市全体では 9 番目に高い。因みに松江市の割合は 5.2%である。

○参考【核家族の割合の推移（全国平均）】



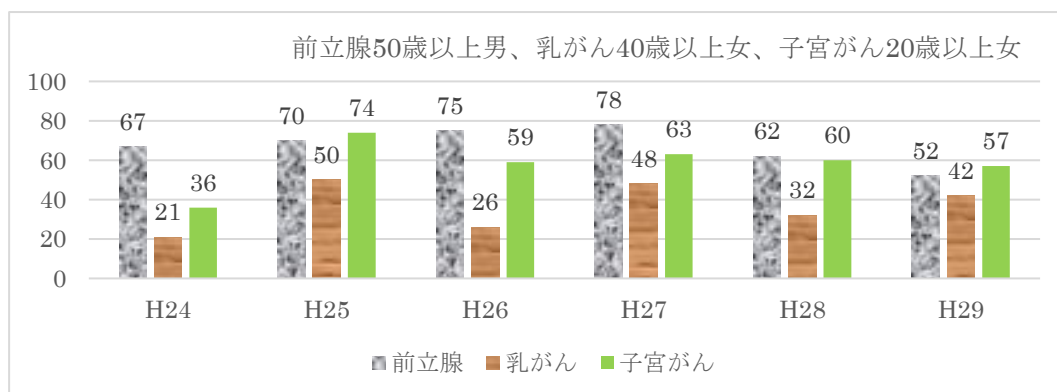
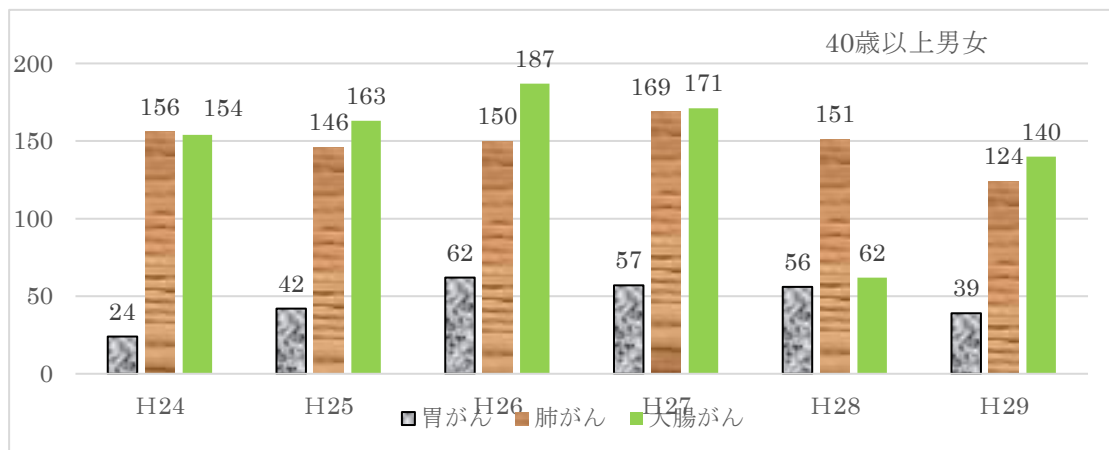
○特定健診受診率の推移 《資料 松江市》



○特定健診受診者（平成28年度） 《資料 松江市》

	40歳～49歳		50歳～59歳		60歳～69歳		70歳以上		計	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
人数	2人	1人	3人	6人	47人	65人	18人	27人	70人	99人

○忌部地区がん検診受診者数 《資料 松江市》



2 第4次忌部地区地域福祉活動計画の評価

第4次忌部地区地域福祉活動計画の評価については、毎年度末地域福祉活動計画進行管理委員会（加本市郎委員長）において評価されている。

評価のランクは次のとおりである。

A…十分にできている B…まあまあできている
C…あまりできていない D…できていない

グループ	活動名	評価	備 考
ふれあい・交流グループ	すこやか交流会	A	472名、小中210名参加
	おとなの広場	A	9回開催 来場者160名
	小中学生の活動	A	敬老の日訪問、ふるさとまつり
	花街道づくり	A	20か所
	障がい者との交流	B	
	地区外との交流	A	視察受入れ時の交流
知る・学ぶ	福祉に関する学習会	A	2回開催
	人権に関する学習会	A	視察研修等
	各団体と意見交換会	A	
見守り・支え合い	相談業務	A	わいわいサロン
	見守り活動	A・B	要配慮者支援事業⇒B評価
	情報交換会	A	17自治会実施 情報の共有
	地域生活支援会議	A	2回開催
	輪の会	A・B	活動募集、要配慮者の把握⇒B
	除雪ボランティア	A	大雪による除雪活動
	ノーマディア運動	B	地域活動には至っていない
	小中学生の安全対策	A・C	下校時の見守り⇒C
伝える・広める	たよりの発行	A・B	ホームページ⇒B
組織づくり	福祉推進員等選出	A	
	健康づくり	A	受診啓発、健康フェスタ開催
防災・防犯体制の充実	防災訓練	A	防災訓練、単位防災訓練
	防犯活動（外灯設置）	A	
環境整備改善対策	コミバスの利用促進	A	
	流出水対策	A	クリーン忌部、不法投棄防止活動
財源確保	地区社協	A	バザー会場

3 みんなの声の概要

（1）高齢者部会

- ① 見守り活動
 - ・ 一人暮らしの高齢者など要配慮者
 - ・ 小学生との交流、他地区との交流
- ② 介護予防対策
 - ・ すこやか交流会の継続、認知症予防、健康維持（ウォーキング、がん検診等）

- ③ 居場所づくり
 - ・ すこやか交流会（参加者を増やす工夫）
 - ・ 空き家を利用した季節限定（降雪時）のシェアハウス
- ⑤ 交通問題
 - ・ コミュニティバス利用増に向けた対策
 - ・ 乗合タクシー（目的地に早く行きたいときの利用）
 - ・ 町民による車両での送迎システムづくり
- ⑥ 健康づくり
 - ・ 健康ウォーキングの継続
 - ・ がん検診啓発活動の継続
 - ・ 相談窓口の開設
 - ・ 生活習慣病への取り組み
- ⑦ その他
 - 農業担い手問題
 - ・ 営農組織の立ち上げの検討
 - ・ 土地利用計画（開発）の検討
 - 終活
 - ・ エンディングノートの書き方講習会
 - 空き家化問題
 - ・ 空き家の周知対策
 - 資源の活用
 - ・ 空山、ダム、神社仏閣等施設を新聞等で PR

（２）青壮年部会

- ① 婚活
 - ・ 未婚の者が増えた。
 - ・ 結婚しない理由として、出会いの機会がない（主に未婚男性）
 - ・ 他人と暮らすのが煩わしい（主に未婚女性）
 - ・ 仲人さんなど世話をする人が少ない
- ② 自治会活動
 - ・ 入会するが会合に出ない者
 - ・ 若者の参加する場が少ない
 - ・ 活動のマンネリ化
 - ・ 役員等担い手の問題
- ③ 防災
 - ・ ハザードマップが分からない
 - ・ 避難場所が分からない
 - ・ 防災に関心がない、危険意識が低い
 - ・ 防災訓練の見直し
 - ・ 自治会の役員等が高齢者 いざという時、対応できるか
- ④ 産業
 - ・ 農業
 - 農業後継者の問題、県道沿いの水田の荒廃、農林業のみの生計の困難性
 - ・ 空山施設活用の拡大

（３）子ども部会

- ① 小・中学生の活動
 - ・ 中学生は部活で忙しく地域行事に参加しにくい、町民体育大会に主要な役を担うなど人材育成に役立っている
 - ・ 将来的には子どもたちによる独自運営に期待

- ② 子育て不安
 - ・ 子育てに不安な保護者がいる
 - ・ 友達、勉強、健康面で困っている
 - ・ 小・中学生の言葉づかいがわるい
- ③ メディア漬け
 - ・ 親子と共に対応の仕方が分からない
- ④ 登下校時の不安
 - ・ 通学路の危険箇所が多い
 - ・ 夜道の下校が不安
 - ・ 通学路の除雪
 - ・ 中学校下校時の適時な路線バスがない
 - ・ 外灯が不足している
- ⑤ 子どもの居場所
 - ・ 学習塾がない
 - ・ 児童クラブには入所制限があり、子ども広場も月と火曜日で
ある、毎日出来ないか
 - ・ 放課後の子どもの見守りが心配
- ⑥ 生活・自然環境
 - ・ 年齢を問わず交流できる環境が良い
 - ・ 県外に出て帰ってきたくなるような環境づくり
 - ・ 遊ぶ場所・公園がない
- ⑦ 伝統行事
 - ・ 地域文化を大切にした教育環境づくり
 - ・ 小・中学生と高齢者との交流の中で伝統行事や伝統的な技術
の習得

4 第5次地域福祉活動計画策定に向けて

(1) 経 緯

今次活動計画は、「人と人とのつながり」、「気づき」、「危機管理能力」の三つをキーワードに据え、「つながろう 笑顔がつくる 福祉の輪」をスローガンに掲げた。

地域福祉活動計画策定に当たっては、地区社会福祉協議会の理事会において、①設置要綱②策定委員15名の承認③三つの専門部会を設置（「高齢者部会」、「青壮年部会」、「子ども部会」）し、各専門部会15名ずつで構成することの了承を得た。

各専門部会では、各地区での情報交換会、福祉推進委員会の研修（地域課題見立てと手立て）まちづくり意見交換会での資料等を参考に、福祉に限らず現状の問題・課題等をみんなの声としてグループワーク等のやり方で拾い上げ作業を行った。次に、「みんなの声」を踏まえ、第5次福祉活動計画の活動名、目標とすべき事柄、具体的な取り組みを考えた。

各専門部会でまとめたものを総務部会に諮り、活動計画の原案を作成した。

各専門部会から提案された項目については、①「ふれあい・交流」、②「見守り・支え合い」、③「健康づくり」、④「学習・情報」、⑤「組織体制」の五つのグループに大別した。

総務部会でまとめた活動計画を策定委員会にて策定し、地区社協の承認を得、それぞれの協力・実施団体に周知する。

(2) 第5次地域福祉活動計画のイメージ図

スローガン「つながろう 笑顔がつくる 福祉の輪」



(3) 新規活動項目

今次活動計画の新規活動の取組みは、下記のと通りの項目である。すぐ実施できるもの、協議・検討を要するもの等があるが、該当する各種団体は前向きに対応するものとする。

- ① ふれあい・交流
 - ・ 未婚者の出会いの場の創出
未婚者の実態把握と「出会いの場の創出」の企画、イベント等
 - ・ 小・中学生の活動支援
高原まつり、文化祭にスタッフとしての参画
- ② 見守り・支え合い
 - ・ 買い物支援
電話で注文できる店、配達する店の発掘、輪の会の利用等の検討

- ・ 忌部町内の福祉施設でのデイサービス、ショートステイ
 - ・ 冬期間のシェアハウス
積雪により交通・緊急時の対応が厳しい期間に、生活できるシェアハウス
 - ・ 子育て情報誌の発行（関係機関の紹介、あっせん等）
 - ・ 夏休み期間中の小学生見回り
 - ・ 通学路、危険個所のマップ等の作成
通学路、危険個所のマップづくりやパンフレットの作成
 - ・ コミバスのスクールバス化の検討
- ③ 健康づくり
- ・ 健康ウォーキングに多数参加できる仕組みづくり
 - ・ ラジオ体操の励行
- ④ 学習・情報
- ・ 社協だよりの発行
 - ・ エンディングノートの書き方講習会開催、相続に関わる研修会
 - ・ 忌部寺子屋の開校
子どもたちの居場所づくりの一環として学習の場の提供
- ⑤ 組織体制
- ・ 高齢者一人暮らしの会の設立検討（実態調査）
 - ・ 若者が自ら問題意識をもち、その解決策を考える（まちづくり）

5 第5次地域福祉活動計画表（実施計画表）

別 紙 （P10～P13）

6 計画の進捗・実績の評価

- ① 計画の評価は、第5次忌部地区地域福祉活動計画策定委員会により、年度ごとに評価する。
- なお、事務局は、忌部地区社会福祉協議会が行う。
- ② 評価された事項について、地区社会福祉協議会及び当該実施団体に報告する。新たな課題等が生じた場合は、その解決策について生活支援会議及び当該団体で協議する。

第5次忌部地区地域福祉活動計画表

	活 動 名	目 標	具体的な取り組み	区分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	実施・協力団体
ふれあい・交流	すこやか交流会	・高齢者同士や高齢者とふれあう茶の間として開催し、認知症予防、閉じこもり、介護予防に繋げる	・自治会で年3回以上実施 ・自治会全体での取り組み	継続 継続	3回以上実施 ⇒	⇒ ⇒	⇒ ⇒	⇒ ⇒	⇒ ⇒	地区社協、民児協、福祉推進員会、自治会、公民館
		・子どもたちの思いやり、おもてなしなど豊かな情緒性を醸成する	・小・中学生の参画によるすこやか交流会	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	地区社協、民児協、福祉推進員会、自治会、公民館、小・中学校
	親子の交流	・乳幼児と親との触れ合い	・ちびっ子教室の開催	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	公民館、母子保健推進員、食生活改善推進員会、PTA、交対協、公民館、松江市
		・親子のつとめ（見守り・支え合いコーナー記載）	・小学校入学前の通学路を通りながら親子のふれあい	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
	花街道花壇づくり	・花壇づくりの継続	・自治会と調整を図りながら継続する	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	花づくりボランティア、寿会、自治会、公民館、自治協会、福祉推進員会
		・花づくりを通して子どもたちと交流を積極的に行う	・継続に向け諸課題を検証する	継続	調査・検討	⇒				
	おとなの広場	・気軽に立ち寄れる「おとなの広場」づくり	・PR活動	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	地区社協、公民館、寿会、ボランティア
			・ボランティア組織の充実	継続	検討	⇒	⇒	⇒	⇒	
	結婚・出会い	・出会いの場の創出	・他地区の公民館、団体等と連携した婚活イベント	新規	調査・検討	実施	⇒	⇒	⇒	自治協会、公民館、自治会、青少協
			・かつての青年団のような若者が集まる場づくり	新規	調査・検討	実施	⇒	⇒	⇒	
			・高原まつりや文化祭などのイベントに若者が出会える企画	新規	検討・実施	実施	⇒	⇒	⇒	
			・独身者の人数等実態調査（情報交換会等を利用）	新規	調査・検討	実施				
	小・中学生の活動支援	・小・中学生が住民とふれあうことや地域社会活動等を行うことにより、地域貢献、健全育成に努める	・他地区の優良事例の収集と提供	新規	調査・検討	実施	⇒	⇒	⇒	
			・家庭に関する講座の開催	新規	検討	実施	⇒	⇒	⇒	
		・中・高生の活動	・花街道花壇づくり	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	自治会、寿会、小学校、公民館、中学校
			・しめ縄づくり、そば打ち、笹巻、餅、団子づくり	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
	忌部地区外との交流	・福祉、自治会に関わる研修・交流	・敬老訪問	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	地区社協、福祉推進員会、自治会、公民館
		・中・高生の活動	・「子どもふるさとまつり」のスタッフ	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	青少協、自治協会、公民館（青少年部）、体協、高原まつり実行委員会
			・「町民体育大会」のスタッフ	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
	忌部地区外との交流	・福祉、自治会に関わる研修・交流	・高原まつり、文化祭のスタッフ及び出店による地域とのふれあい	新規	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	
			・生徒総会の開催（地域活動の反省と事業計画、新規企画等協議）	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
		・要配慮者支援組織の充実	・田んぼアートの田植え、稲刈りで忌部地区内外の保護者や子どもたちとの交流を図る	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	流出水対策協議会、青少協、公民館、中学校
			・中学生の地域リーダー研修の開催	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
	高齢者等の見守り活動	・高齢者世帯、一人暮らしの世帯、障がい者等の見守り活動の充実	・福祉推進員等により見守りを兼ねた「達者で暮らさや」、「すこやか交流会だより」、「社協だより」等の配布	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	地区社協、福祉推進員会、民児協、自治会
			・年末の見守り（福祉推進員等により年末そばの配食時の見守り）	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
		・要配慮者支援組織の充実	・要配慮者支援組織設置地区の見守り活動の充実	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	地区社協、福祉推進員会、民児協、自治会
			・実施地区の要配慮者支援組織及び事業の充実	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	

	活 動 名	目 標	具体的な取り組み	区分	1 9年度	2 0年度	2 1 年度	2 2年度	2 3年度	実施・協力団体
見 守 り ・ 支 え 合 い		・ 買い物支援	・ 電話で注文できる店・配達する店、移動販売車等の一覧表作成 ・ 助け合いセンター「輪の会」の活用 ・ 地元店舗の活用（コミバスを利用しての買い物を含む） ・ 地区内福祉施設の利用 ・ インターネットによる買い物（同居していない家族からの注文）	新規 新規 新規 新規 新規	調査・検討 調査・検討 調査・検討 調査・検討 調査・検討					地区社協、松江市、業者、 輪の会、地区内福祉施設
		・ 除雪ボランティアの充実（小型除雪機使用）	・ 小型除雪機を配備している自治会（熊山、大川端、空山、大向、中組）のボランティアにより、公道から高齢者等要配慮者宅までの除雪 ・ ボランティアの有償化（地区内統一料金の設定）	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	自治協会、自治会、輪の会
				新規	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	
		・ コミュニティバス利用促進協議会の充実	・ コミュニティバスの利用促進と利便性の向上 ・ コミュニティバスのポイント制の導入 ・ 一便あたり最低2人以上の利用客の確保	継続 新規 継続	⇒ 実施 ⇒	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒	コミバス利用促進協議会、 自治協会、自治会、公民館、地区社協、小学校、PTA
		・ コミュニティバス運行時間短縮のため幹線道路まで（枝線）の運行計画の検討	・ コミュニティバス運行幹線道路まで（枝線）の運行計画の検討（自治会対応の検討など）	新規	調査・検討					
		・ 助け合いセンター「輪の会」の充実	・ 利用対象者の把握と宅周り等の状況把握 ・ 対象者のニーズ調査 ・ 運営委員会の開催	継続 新規 継続	⇒ アンケート等の実施 ⇒	⇒ ⇒	⇒ ⇒	⇒ ⇒	⇒ ⇒	輪の会、輪の会運営委員会、地区社協、福祉推進委員会、民児協
	高齢者の施設等利用	・ 高齢者等が地元の施設の利用や入所しやすい環境づくり	・ 忌部地区内でデイスサービス、ショートスティができる施設の発掘	新規	調査					地区社協、民生児童委員、福祉推進委員会
		・ 高齢者の冬期間（積雪時）の対策	・ 冬期間のシェアハウス	新規	調査・検討					地区社協、自治会、民生児童委員、福祉推進委員
	生活支援会議 ＜地域支え合い協議体 （第2層協議体）＞	・ 福祉に関する各地区の課題・問題点等情報の共有化と解決策の協議	・ 地域で支え合う体制の強化 ・ 各地区の情報交換会での問題点・課題点整理 ・ 行政、市社協、包括支援センター等関係機関との情報交換、解決策の協議	継続 継続 継続	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒	地区社協、民児協、自治協会、福祉推進委員会、寿会、生活支援員、輪の会、公民館、松江市、市社協
	防災活動	・ 市防災安全部、南消防署・消防団忌部分団と連携した防災訓練、研修を開催し、防災意識の高揚と災害時における適切な対応に繋げる	・ 地区全体での防災訓練と研修（年1回以上）の開催 ・ 各自治会での防災訓練・研修と自主防災組織体制の充実 ・ 要配慮者支援組織設置地区の要配慮者が参加する訓練 ・ 防災士（専門家）を招いた訓練、研修 ・ 防災資機材の整備、補助 ・ 防災スピーカーの増設要望 ・ 他地区の優良事例の収集と提供	継続 継続 継続 新規 継続 新規 新規	⇒ ⇒ ⇒ 実施 ⇒ 要望 実施	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒	自治協会、自治会、地区社協、消防団忌部分団、公民館、自治会、福祉推進委員会、小学校、地域防災指導員、松江市防災安全部、南消防署
	相談業務	・ 関係者による相談業務、支援	・ 乳児相談（わいわいサロン） ・ 子育て情報誌の発行（関係機関の紹介、斡旋） ・ 相談窓口（公民館）の開設と受付業務 ・ 地域がん患者・家族相談	継続 新規 新規 継続	⇒ 実施 調査 ⇒	⇒ ⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒ ⇒	母子保健協力員、民児協、福祉推進委員会、地区社協、公民館、ピアハウスいんべ
	小・中学生の安全対策	・ 小・中学生の安全確認	・ 通学路の危険個所の把握と情報の共有（例：「忌部みんなでウォーキング」） ・ おやこのつどい（小学校就学前の親子で通学路を通り、状況の把握と親睦会の開催） ・ 中学生就学前の「親子でサイクリング」 ・ 中学校校区内の商業施設等の巡回 ・ 夏休み期間中に小中学生の見回り	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	地域安全推進委員会、住民みまもりたい、乃木交番、交対協、交通指導員、小・中学校、青少協、青少年部、PTA
				継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
				継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
				継続 新規	⇒ 実施	⇒ ⇒	⇒ ⇒	⇒ ⇒	⇒ ⇒	

	活 動 名	目 標	具体的な取り組み	区分	1 9年度	2 0年度	2 1 年度	2 2年度	2 3年度	実施・協力団体
		・ 登校時の見守り	・ 登校時の交通安全（道路の横断等） ・ あいさつ等の声掛け	継続 継続	⇒ ⇒	⇒ ⇒	⇒ ⇒	⇒ ⇒	⇒ ⇒	
		・ 下校時の見守り	・ 農作業しながら、犬の散歩しながらなど「ながら見守り」の実施 ・ あいさつ等の声掛け ・ 「こども1 1 0番の家」の周知と受入れ対応 ・ 通学路、危険箇所のマップやパンフレットの作成	継続 継続 継続 新規	⇒ ⇒ ⇒ 作成	⇒ ⇒ ⇒ 活用	⇒ ⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒ ⇒	地域安全推進員会、住民みまもりたい、乃木交番連絡協議会、交対協、小・中学校、PTA、自治会、寿会
		・ 通学路の除雪	・ 通学路の除雪	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	PTA、地域ボランティア、自治会
		・ スクールバスの新設	・ コミュニティバスのスクールバス化	新規	調査・検討					コミバス利用促進協議会、小・中学校、PTA、自治会
健康 しん	健康忌部21推進隊 （健康寿命の延伸）	・ 健康ウォーキングの実施	・ 多数参加ができる仕組みづくり ・ 忌部地区内の早朝ウォーキングの実施 ・ 忌部地区外の早朝ウォーキングの実施	新規 継続 継続	検討 ⇒ ⇒	実施 ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒	公民館（保健体育部）、健康忌部21推進隊、地区社協、体育協会、保健協力員、食生活改善推進員、母子保健推進員、小学校、自治協会、民児協、福祉推進員会、寿会、青少協、自治会
		・ 体操の励行	・ まめまめ体操（ずんどこ体操）の励行 ・ ラジオ体操の励行	継続 新規	⇒ 実施	⇒ ⇒	⇒ ⇒	⇒ ⇒	⇒ ⇒	
		・ 食生活と健康の意識高揚と実践	・ 健康教室の実施 ・ 生活習慣予防に関わる学習、実践 ・ 食生活改善推進員により「食」に関わる指導の実施	継続 継続 継続	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒	
		・ 健康診断・がん検診受診の推進	・ 保健協力員等により受診日前の広報活動 ・ 受診の重要性の広報活動の実施	継続 継続	⇒ ⇒	⇒ ⇒	⇒ ⇒	⇒ ⇒	⇒ ⇒	
		・ 総合的な健康づくりの意識高揚と実践	・ 健康フェスティバル等のイベントを開催し、総合的に健康を考える取組み ・ 健康に関する総合的な研修と実践	継続 継続	⇒ ⇒	⇒ ⇒	⇒ ⇒	⇒ ⇒	⇒ ⇒	
学 習 ・ 情 報	情報交換会	・ 忌部町各地区の情報（課題・問題その他）の提供	・ 自治会ごとに市、市社協、地元との現状把握と問題・課題点の共有化	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	地区社協、自治会、民児協、福祉推進員会、消防団忌部分団、松江市、市社協、子ども会
	高齢者の交通安全	・ 安全運転知識と運転技術の衰えの防止	・ 交通安全についての講習会	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	交対協、寿会、自治会
	福祉に関する情報の発信	・ 福祉に関する情報を発信し、周知を図る	・ 「社協だより」の発行 ・ 「すこやか交流会だより」の発行	新規 継続	実施 ⇒	⇒ ⇒	⇒ ⇒	⇒ ⇒	⇒ ⇒	地区社協、福祉推進員会
	終活	・ 相続人の円滑な相続等	・ エンディングノートの書き方等の指導、講習会 ・ 相続に関わる研修会 ・ 相続税等税金関係の研修会	新規 新規 新規	実施	実施	実施	実施	実施	地区社協、福祉推進員会、民児協、寿会
	人権に関すること	・ 思いやりのある差別のない地域を目指す	・ 小・中学校と連携した広報活動 ・ 人権学習の実施 ・ あいさつ運動の実施	継続 継続 継続	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒	人推協、公民館、小・中学校、自治協会、自治会

	活 動 名	目 標	具体的な取り組み	区分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	実施・協力団体
	メディアコントロール	・適切なメディアとの関わり方の支援	・メディアとの関わり方についての学習（実演含む） ・メディアとの関わり方について小・中学校と連携して支援する ・親子の行事や親子同士の対話の機会の場づくり	継続 継続 継続	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒	公民館、青少協、小・中学校、健康忌部21推進隊
	忌部寺子屋	・「忌部寺子屋」（地域ですすめる「松江てらこや」）を実施する 忌部公民館で子どもたちに学習の機会を提供し、地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりの推進	・子どもたちの学校帰りの居場所づくりの一環として、忌部地区の教員OB等で構成し、主に子どもの学習支援事業を行う	新規	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	公民館、忌部寺子屋実行委員会、小・中学校、PTA、市教委、
組織体制	高齢者一人暮らしの会	・一人暮らしの人が集うコミュニケーションの場づくり	・一人暮らしの世帯の把握 ・一人暮らしの会（仮称）の設立に向け検討	新規 新規	調査 調査・検討					地区社協、福祉推進員会、民児協、寿会、自治会、公民館
	地区社会福祉協議会加入の促進	・自治会加入に合せ地区社協の加入促進	・自治会未加入者の加入促進	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	自治協会、自治会、地区社協、公民館
	生活環境、自然環境、伝統行事等豊かな環境で育む心の豊かさの醸成	・地域の特性を活かした行事等の継続と見直し、新設	・自ら問題を考え、解決策を見出す組織づくり ・定期的にアンケートを実施し、生の声を活かした家族ぐるみの行事を実施 ・若い世代が積極的に関わっていける行事の実施 ・子育て世代の男女が情報を提供し合える場所づくり	新規 新規 新規 新規	調査・検討 調査・検討 調査・検討 調査・検討	実施 実施 実施	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒	自治協会、自治会、PTA、寿会、青少協、公民館、忌部寺子屋実行委員会、地区社協
	財源確保	・地区社協の安定的な財源確保	・バザーの開催 ・寄付文化の醸成 ・その他財源確保となる手段の模索	継続 継続 継続	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒	地区社協、福祉推進員会、自治会